

導入事例 ユニオンネットワーク株式会社 様

## 「キヤノン一択」で導入を決定。連続給紙可能な imagePRESS 封筒モデルで、生産性が大幅に向上。



代表取締役社長 松原匡隆 様



### Client Profile



#### ユニオンネットワーク株式会社

名刺、封筒、挨拶状など各種印刷物の企画制作

従業員数：30名

所在地：東京都中央区築地1-12-22

創業：2001年5月30日

資本金：1,500万円

事業内容：名刺、カード、封筒類印刷、  
デジタルプリプレス、企画制作

### 名刺印刷に特化したビジネスを軸足に デジタル対応を深め、競争力を磨く。

ユニオンネットワーク株式会社は、2001年、名刺印刷に特化した印刷会社として創業。名刺印刷へのさまざまな要望に応える「名刺コンシェルジュ」を標榜し、高品質と短納期、低コストの実現に向け企業努力を続けている企業です。名刺をスピーディーに発注できるウェブ発注システムを独自構築するなど新規ビジネスの開拓にも意欲的で、事業は成長を続けています。代表取締役社長の松原匡隆氏は、「品質には絶対的な自信があります。その自信を支えているのは、お客様のご要望にお応えするための知識と経験ですね。さらに個々の社員の技術力向上への意欲も、弊社の強みだと考えています」。

デジタル印刷の活用により、高品質と短納期、低コストを実現。顧客によってはコロナ禍による働き方の変化により名刺需要が減少した一方、自社の強みを活かした営業活動で新規顧客を獲得しており、現在の取引先数は1800社、年間の名刺印刷枚数は約4500万枚に達するなど、受注量は増加しているといえます。

「名刺印刷に特化して、競争力に磨きをかけてきた結果ではないでしょうか。現在の課題は、旧来のオフセット印刷の資材・材料コストの高騰です。今後ますますオンデマンド印刷機を主力として、競争力と対応力を上げていきたいですね」(松原氏)と、将来を見据えます。

## 01 導入背景

### 封筒印刷の品質安定と生産力を上げたい。

創業時は軽オフ印刷機が主力でしたが、名刺印刷用オンデマンド機を早い時期から複数台導入し、徐々にデジタル印刷へとシフトしてまいりました。というも、印刷業界全体がオペレーターの高齢化問題に直面しており技術継承が難しく時間も掛かること、軽オフ印刷機の保守サービスが打ち切られるなど将来的な運用面での不安があったからです。封筒印刷については軽オフやインクジェット機で対応してきましたが、オペレーターへの負荷が高い割に収益性はあまり高くありません。そこで安定した品質で、必要な分だけ必要なときに簡単に印刷できるオンデマンド印刷機にいち早く切り替えたいと考え、本格的な導入を決めました。



imagePRESS C1000VP

## 02 選定理由

### 品質、速度、安定性。 封筒印刷専用機は「キヤノン一択」。

今回、封筒専用印刷機として選んだのは、キヤノンのimagePRESS C910に封筒フィーダーを装着したモデルです。もともと名刺印刷でも実績のあるimagePRESSシリーズには信頼感がありました。従来100枚ごとだった封筒補充が、この封筒フィーダーにより一度に300枚の連続給紙が可能に。高速であることはもちろんトラブルもほとんどなく、用紙対応力や色味の安定性など品質面にも十分満足できます。また、画面の見やすさ、操作性の高さなど、キヤノン製品は現場からの評価が高く、今回の機種もオペレーターからの要望で決めました。もちろん他メーカーの製品も検討しましたが、結論は「キヤノン一択」。いままその判断に間違いはなかったと確信しています。



### 封筒フィーダー搭載オンデマンドプリンター imagePRESS C910+封筒フィーダー UF-02

「安定性」 「生産性」 「対応力」

キヤノン オンデマンドプリンター  
canon.jp/pod-printer



\*封筒フィーダー UF-02/排紙トレイ S-02は株式会社光文堂の製品です。

- 名刺印刷で多用する厚紙でも毎分90枚をハイスピード出力
- 封筒、ハガキなど多様な用紙に幅広く柔軟に対応
- 長形4号～角形2号までの多様な封筒サイズに対応
- 封筒約300枚を積載可能！連続印刷により生産性が向上

封筒モデルを  
動画で紹介



## 03 導入後の成果

### 大量注文にも柔軟に対応できる 安定的な生産を実現。

imagePRESS封筒モデルは、期待したとおりの品質で安定した生産に貢献してくれています。封筒印刷で難しいトナーの定着性にも優れ、標準設定でもお客様に満足いただける結果が得られます。また、オペレーターが1台の機械につききりになる必要がなくなり、別の作業も並行して進められる時間的余裕が生まれました。急に大量注文の依頼がきても、効率的な生産で対応できるので、今後は積極的な営業活動で受注量を増やしていけます。名刺印刷だけのお客様に対しても、imagePRESS封筒モデルでの高品質な封筒印刷をご紹介しますなど、ビジネスの拡大に注力していけそうです。



imagePRESS C910+封筒フィーダー UF-02

## 04 今後の展開

### 常に最新設備を整え、 高付加価値なサービスを提供。

キヤノンのオンデマンド機を主軸に、裁断機、加工機などの周辺機器を拡充。お客様からのさまざまな要望に応えられる環境整備を続けてきたからこそ事業を成長させることができました。今後もキヤノンとのパートナーシップを深めながら、最新設備を整え、業務の省力化・自動化を推進していきます。働きやすい環境を整備し、個々が高度な技術を身につけ、従業員の働きがいの実現と満足度向上が大切になります。最新の設備を導入して業務効率と生産性を上げ、同時に、お客様が求める付加価値の高いサービスを提供できるように技術を磨いていく。5年先、10年先のビジネスを見据えた成長のためにも、全社一丸となって取り組みを続けていきます。